

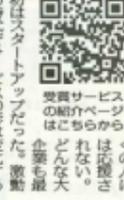


代表取締役社長 CEO 中島 徳至氏

形にしていくのは、成長感の強いしなから抱負したモタリを出
た。買金回率は、投資家から見ていく。まだ見えない将来
か「社会にとって善か悪か」と世評の責任だ。
いた面と丁寧に話せることが、モビリティサービスは人への
信頼。初めのことをするから、気力仕事。サービスを美談する
社での対話も不可欠であり、各業界において難しい領域を表現し
監督官庁との合意形成も重要だ。また会社に自信している
新しいサービスを生み出す時、1個人にファイナンスを提供
て、ドライバーの信用力や働き
りも可視化する。支払いが滞り
た場合は「MCCS」が車両を安
全に管理して起動制御し、支払いが
済めば解除される仕組みだ。
■本は世界を形作る
時代を切り開いていくサービス
プレイヤーは、誰しも差別する。か
未来のあるべき社会の人は、と
見えないが、創業チームには
ている。また見えない将来の姿を

与信力を真面目に働く人たちに

金に潤いで起動制御し、支払いが
済めば解除される仕組みだ。
■本は世界を形作る
時代を切り開いていくサービス
プレイヤーは、誰しも差別する。か
未来のあるべき社会の人は、と
見えないが、創業チームには
ている。また見えない将来の姿を



くの人に
は活発さ
れない。
どんな大
企業も最
初はスター
アップだっ
た。激動の
時代でサー
ビスの形は
変わるが、
創業期の気
持ちは忘れ
ない。

初はスターアップだった。激動の時代でサービスの形は変わるが、創業期の気持ちは忘れられない。企業も最初はスターアップだった。激動の時代でサービスの形は変わるが、創業期の気持ちは忘れられない。

■後の目標は、1個人にファイナンスを提供することで、大手の自動車メーカーがその市場に参入して行くことを阻んで、3・0を越える特許を他国で取得している。大手業の信用力を信頼関係を築き込み、同様のサービスを各層で展開してもいい。より多くの人々クルマが動き、カーボネロの実現も近づいていく。

私たちがのびのびと歩けるようになったのは、感謝の心がもたらした。最初からありたい、目標を高く掲げてもいい。世界の大企業と同じくらい、感動する心がなければ、多

日本サービス大賞 第4回(前回)受賞企業の横顔

特集

革新的で優れたサービスを表彰する第4回日本サービス大賞「日本生産者部サード産業生産者部賞」の応募受付が、6月3日から開始した。本特集は第4回日本サービス大賞の受賞企業のうち4社の代表にインタビューした。連載は全2回(次回7月5日号)に連載予定。

SDPで金融機関と連携して支
この課題は自分たちが挑戦
払い状況などのデータを分析し

SDPで金融機関と連携して支
払い状況などのデータを分析し

SDPで金融機関と連携して支
払い状況などのデータを分析し

SDPで金融機関と連携して支
払い状況などのデータを分析し

SDPで金融機関と連携して支
払い状況などのデータを分析し